

令和元年8月定例記者会見要旨

開催日時 令和元年8月21日(水) 午前10時30分 市長応接室

(市長あいさつ)

皆さんこんにちは。暑い夏も少しずつ秋風が吹いてきたかなという感じですが、メディアの皆様にはいろいろと報道等でご協力いただきありがとうございます。過日の諏訪湖祭湖上花火大会も心配された台風が接近していましたが、間隙を縫って開催でき、皆様によるこんでいただけました結果になりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(9月の日程説明等)

- 第37回全国新作花火競技大会 9月7日(土) 午後7時 諏訪湖畔
 - 敬老祝賀訪問 9月11日(水) 午前中
 - 第19回諏訪市農業祭 9月14日(土) 午前9時 諏訪湖イベントホール
 - 諏訪湖まちじゅう芸術祭 9月14日(土)～23日(月)
 - 市政懇談会(ゆかり市長とまちかどトーク)
- 教育委員会関係9月の行事予定

記者との質疑応答

○諏訪湖スマートインターチェンジについて

(記者) 諏訪湖スマートインターチェンジの開通予定はいつ頃になるのか。

(市長) スマートインターにつきましては、連結許可が下りてから概ね5年後くらいを目途に開通するというような概略の目標設定がありますので、それに向けて努力していくという一つの目標はあろうかと思えます。

(記者) 本年度に事業化ができると、2027年のリニア開通に合わせてということになるのか。

(市長) リニア開通は8年後なので、今年度に事業着手になると、それよりも前になる可能性はあると思えます。今の目標に向かって頑張っていくということですが、未来のことは分からないので、心積もりとして国土交通省でもスマートインターについては概ね5年という目標を持っていますので、それに合わせて努力をしていくことになると思えます。

(記者) 現在の段階は、諏訪と岡谷の当該地区の合意は得ている。実際の地権者の方たちの用地買収等はこれからということでしょうか。

(市長) そうです。地域にお話をして、地区として同意をいただいたので、これで申請を上げて許可が下りれば具体的に着手します。

○諏訪湖祭湖上花火大会について

(記者) 諏訪湖の花火について、今年は台風の影響もあり、近年になく雨も軽く降った程度でよい花火だった。例年こういった話を聞くが、上諏訪駅に帰る方が集中して、長野市に帰る知人が特急券を持っていたにもかかわらず、一般の列に並ばされ、警察や駅との連携がうまくなくて、結局、特急列車に乗ることができず、普通列車で帰った。そのような話を聞いたので、事前に特急乗車券を持っている方のすみ分けがきちんとできるような形になってほしいと思うが。

(市長) ありがとうございます。いただいたご意見は実行委員会で承り、より良い形になるように関係者で相談をしていきたいと思えます。

(記者) 花火の関連で観客者数が46万人との発表だったが、東バル跡地の席が空いていた話もあるようだが、2年前は雨で48万人の赤字決算だったが、今年は46万人で終わった直後ではあるが収支の状況はいかがか。

(市長) 観客者数につきましては、情報をもらいながら実行委員会事務局で判断し発表させていただきました。やはり台風の影響があったので、駐車場の満車は昨年よりも遅い状況でした。関西、中京方面のお客様が少し少なかったので46万人という数字を発表させていただきました。

(記者) 収支はいかがか。

(市長) 分かりません。収支のまとめはこれからです。当日券の売り上げが鈍っていることは当日の午前中に聞いていますが、結果はまだ聞いておりません。東バルの跡地は例年いっぱいにはならないです。台風の影響で躊躇された方もあったとは思えます。我々は現場で気象情報等を検知しながら判断していきますので、現場の風は、午後には10メートルを切っており、8メートルから6メートルくらいの南東の風でしたので、ぎりぎりまで注視しておりましたが、開会の時点では問題ない状況でスタートしています。無事に開催できたことは皆様のご協力のおかげだと思います。ありがとうございました。

○立石公園すべり台撤去について

(記者) 今回の市議会9月定例会の議案で補正予算にでている立石公園のすべり台撤去について、事故が頻発していることでの判断だと思うが、設置した時には立石公園を親しんでもらうために展望テラスと一緒に作り、思いもあったと思うが、撤去に至ったことについて市長の見解は。

(市長) 大人も子供もアウトドアで遊べる施設は、諏訪市に少ないのではないかという声をいただいている中で、立石公園のすべり台はちょっとスリリングで、長いスロープなので大人も楽しんでいただける施設として、また、風光明媚な立石公園の中にあるということで、多くの皆さんに活用していただいていたところですが、設置以降、平成19年、25年に事故が起きました。私が就任してからは平成

27年に2回、28年と29年にも起こっています。事故の原因がほとんどは雨が降った時で、雨の場合は滑りやすくなり危ないので使用しないように告知をし続けてきました。ご利用いただく方々のことも考えて、今では4ヶ国語での告知で事故の度に告知看板を派手にして、スピードがでるところにはクッション材を設けるなど修繕をして利用いただいていたという経過です。私が就任してから5回目の事故になりました。事故が発生することを心配しながら対応してきましたが、今回は海外から来られたお客様が事故に遭われました。母国語でも注意喚起していましたが、せっかくインバウンドのお客様が数多く訪れていただくようになって、今後も事故が続くようなことになると、観光で来られる方へのイメージ的なダメージもあるのではということです。再三にわたり注意喚起をしてきましたが、それでもルールを守っていただけないとするならば、残念ながら撤去という判断をさせていただきました。晴れた日にはスリリングでとても楽しい遊び道具ではありましたが、危険であるということはよくありませんので、残念ながらこれ以上怪我をされる方が出てしまうことは、よしとしないということです。担当課も、事故の度にいろいろな工夫をして改良をしてきましたが、これ以上は管理の手立てが見つかりませんので撤去に至ったということです。

(記者) 親子がアウトドアで遊べる施設が少ないとのことだが、撤去後の活用方法を検討する可能性はあるのか。

(市長) 今、現状においては、撤去後の場所に新たな遊具の設置は考えておりませんので危なくない様に整地をする予定です。立石公園は、眺めの良い所なので景色を楽しんでいただきたいと思います。

○湖周サイクリングロードについて

(記者) 先日、県が整備したサイクリングロードが開通したが、北側の諏訪市ルートの開通に向けた進捗状況は。

(市長) ヨットハーバーまでは県が県道の整備をしてくれます。諏訪市はヨットハーバーの入口から下諏訪町境まで市として整備をいたします。今年、詳細設計をしますので、来年度から工事に着手していくことになると思います。

(記者) ジョギングロードとサイクリングロードの併設ということで、なかなか工事が難しいと思うが。

(市長) そうです。そのための費用もかかります。湖周2市1町の中では、諏訪市は公園もあり、全線を平行して行けるところではないので、駐車場の一部を自転車道に整備する場所もありますし、自動車道と隣り合わせになる所も一部あります。

(記者) 期間はいつ頃までか。

(市長) 目標とすればスタートして7年後になります。

(記者) 開通式で格好良く自転車に乗られていたが感想は。

(市長) スポーツ系の自転車は高速で走れて、ヘルメットの装着が推奨されているので私も着けて乗りました。別の日に朝早く起きて諏訪市の整備区間を下諏訪町境まで行ってみました。道路に溝とか段差があると走りづらかったので、自転車に乗られる方々が自転車道の整備を要望される気持ちが分かりました。

(記者) 自転車に乗る方は増えているのか。

(市長) 増えてきていると思います。スワヤツサイクルの皆さんが自転車を推奨していただいています。霧ヶ峰も電動アシスト付自転車だと楽に上って行けるそうです。諏訪湖周から霧ヶ峰、八ヶ岳方面が連携したサイクリングのロングライドのようなコースを推奨するようなことを彼らが生み出してくれるかもしれません。最近では体験・滞在型の観光をこの地域も考えていきたいと思っていますので、よい要素だと思っています。一日はランニングをして、一日はサイクリングを楽しんで、一日はカヌーやヨットとかボートで水辺を遊んで、二泊、三泊の楽しい夏休みが過ごせるのではないのでしょうか。早くそのような環境に整えていきたいと思っています。県の諏訪湖かわまちづくり計画も同時進行していますし、諏訪湖創生ビジョンも五ヶ年計画でスタートし、県が主導で進めてくれていますので、そうしたことと連動できると考えています。